

社長記者会見を開催

本日、当社は記者会見を行い、三村景一社長とMBSメディアホールディングスの梅本史郎社長が出席しました。会見の概要は以下の通りです。

【毎日放送 三村景一社長】

●2019年と年末年始を振り返って

去年はラグビーのワールドカップがあり、今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるということで、やはりスポーツコンテンツのライブならではの魅力が強いということを再認識しました。MBSは全国高校ラグビーに取り組んで45年になりますが、ライブ配信の再生数、オンデマンド配信の再生数、花園ラグビー場に足を運んでくださった方々の数、決勝の試合前に「ひるおび」で中継が入ったことや、翌日の全国ネット番組での扱いなど、どれをとっても社会現象としてのラグビー人気、注目度の高さを感じました。ワールドカップの盛り上がりや何とか持続していこうという地道な努力の成果であり、次回100回大会に向かって色々なことを考えていきたいと思っています。

●4月編成について

テレビの4月改編では「スポーツ」をテーマに据え、独自の切り口でスポーツを扱うことが出来ないか、全ての番組でアンテナを立てて取り組む1年にしたいと思っています。

とりわけ土曜日朝の全国ネット番組「サタデープラス」は、このオリンピックイヤーはスポーツに特化していこうということで準備しています。人間模様、ファッション、音楽にいたるまで、スポーツを取り巻く森羅万象を他局にない切り口で取りあげていきます。また「ちちんぷいぷい」「ミント!」にも新しいコーナーを誕生させます。

もうひとつ、インターネット配信の活用という点では、地上波テレビとインターネット配信という2つの出し口を使って楽しむことができる全く新しい番組を立ち上げるべく、現在広く社内に企画を募集しています。テレビのリーチ力とインターネットの手軽さ、自由さを融合することの出来るものを生み出すのが狙いで、放送とインターネットどちらがメインでも構わないと言っています。ジャンルを問わず様々な物事を取りあげることの出来る自由度の高い番組を目指しています。こちらは深夜の30分枠を想定しています。

●災害報道について

生の情報を伝える放送局の使命としては、災害報道にもこれまで以上に取り組んでいきます。あす1月17日で阪神・淡路大震災の発生から25年の節目を迎えます。ラジオは震災をきっかけにスタートした毎週1回の防災番組「ネットワーク1.17」が25年続いています。この25年間を振り返ると、時間が経つにつれて被害者が抱える問題点が変化していることや、ずっと後になって初めて噴出する被害もあることに気づきます。こういった経験を経て、メディアとしては、災害発生直後や、周年の節目だけでなく、もっと細かいスパンで、かつ継続して被災地に寄り添い続けることが重要であると実感して番組を継続し、被災地取材も続けています。

豪雨や台風などの気象災害も含め、求められる災害報道もメディア環境も25年で大きく変わりましたが、常に時代にあった的確な報道が出来るよう備えていきたいと思っています。

【MBS メディアホールディングス 梅本史郎社長】

●MBS グループの現況と今後について

去年、MBS グループでは「MBS ファシリティーズ」、「ピコリ」、「MGC パークパートナーズ」、「TOROMI PRODUCE」、「MG スポーツ」と5つの会社が生まれました。

このうち、「TOROMI PRODUCE」と「MG スポーツ」は新規事業創出のため一昨年設立した「MBS イノベーションドライブ」が100%出資した社内ベンチャーです。「TOROMI PRODUCE」は入社以来30年にわたって「水野真紀の魔法のレストラン」など食情報番組の制作に携わったプロデューサーが代表取締役を務める「食」領域の会社で、MBSには古くは「シェフにおまかせ!」「あまからアベニュー」といった番組があり、食情報に関する長年にわたるノウハウを活かしていきます。

「MG スポーツ」は様々なスポーツの動画視聴ニーズが高まっていることに着目し、MBSの前スポーツ局長が社長を務めているほか、CS放送のグループ会社GAORAの社員が取締役に就任し、グループ丸となってスポーツ事業に取り組みます。先ほど、三村から今年はスポーツに力を入れると申し上げましたが、東京オリンピック・パラリンピックがあるから力を入れるということではなく、一過性のブームに終わることなく、地上波で放送が難しいスポーツやアマチュアスポーツ、学生スポーツにいたるまで、あらゆるスポーツ関連の事業に取り組んでいきます。

これら新しく生まれたグループ会社は、いずれも本業と連携することで真価を発揮することができるものです。メディアホールディングスという社名に相応しく、これまでに培ったノウハウや知見をグループ全体で活かしていけるよう、グループ総体で力を発揮していこうと呼びかけているところです。

●「梅田3丁目計画（仮称）」で運営する劇場について

去年12月11日に大阪中央郵便局跡地に建設予定の「梅田3丁目計画（仮称）」でHD社が劇場を運営することを発表しました。開業は2024年の予定で、だいぶ先のことなのでどんな演目を上演するかなど詳細はこれからですが、1,200～1,300という座席数は、800～1,000席規模が多い大阪においては強みだと思いますし、抜群の立地にも恵まれました。さまざまなライブエンターテインメントを提供していきたいと考えています。

以上